

12月城南だより

令和6年11月29日(金)
東京都立城南特別支援学校長
濱野 建児

<東京都特別支援教育推進計画について>

校長 濱野 建児

東京都特別支援教育推進計画(以下推進計画)が平成16年11月に策定されてから、20年が経過しました。その中でも共生社会の実現を目指すことの重要性が示されています。その土台は地域との連携がなくては達成されないものです。現在、推進計画(第二期)第3次(令和7年度~令和9年度)実施計画案が作成されました。計画には、「学校と地域のつながりの強化」があります。本校は創立してから50年以上となり、地域の中で理解を得ながら教育を進めてきました。しかし、近年の感染症対策により、以前の交流が途絶えている状況がありました。11月に実施した城南祭では、近隣の小学校・中学校・高等学校との作品交流をしました。実際に作品の見学に行ったり、直接交流ができたことはよい経験になりました。展示作品を通して、各校の学習の様子が良く分かり力作がそろっていました。

本校の児童・生徒は3区(港、品川、大田)の広範囲から通学しています。普段生活する地域と学習を深めている地域が分かれています。それぞれの地域における交流は大切な機会です。近隣の児童・生徒が、日常的な交流を通して特別支援教育の理解を深め、いつも隣にいて共に生きる地域の一人として実感できるような教育を進めていきます。



令和6年度 城南祭

小学部 鈴木 淳志

11月19日(火)から11月22日(金)までの4日間、城南祭が行われました。体育館、体育館フロア、自立活動室、会議室を会場として、それぞれの日々の学習成果を披露しました。

児童・生徒のみんなが考えた言葉をつなげて「#おもしろい城南祭 青春へ 未来へ とびたて」のローグンを立てて行われた城南祭、舞台発表はもちろん、児童・生徒自身が進行するお祭りやゲーム、そしてオリンピックも行われました。発表に向けての練習や頑張った思い出、楽しかった思い出は、今後の学校生活の大きな励みや自信につながると思います。保護者の皆様におかれましては、準備等の御協力、当日は御参観いただき、誠にありがとうございました。



<大田区立南六郷中学校との生徒会交流>

中学部 二階堂 直子

11月15日、大田区立南六郷中学校生徒会役員4名が、城南祭に展示する作品を届けてくださいました。本校中学部生徒会役員4名が作品を受け取り、交流を行いました。初めの自己紹介が大いに盛り上がり、本校生徒がアニメの物まねを披露したり、南六郷中の生徒のギターを生演奏をみんなで聴いたりしました。好きなものに対しての質問や答え等活発なやり取りが行われ、短時間でしたが充実した交流が行えました。

お預かりした作品は、城南祭で第2職員室前に飾り、皆様に御覧いただきました。1月には南六郷中の文化祭に本校の作品を展示するため、生徒会役員が届ける予定です。本校役員も次回の交流を、今から楽しみにしています。

